

科目名	地理	英語科目名	Geography
開講年度・学期	平成 27 年度・通年	対象学科・専攻・学年	1 年 機械工学科・物質工学科・建築学科
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	2 単位	単位種類	履修単位 60h
担当教員	横山 俊一(非常勤講師)	居室 (もしくは所属)	管理棟 1 階 (非常勤講師控室)
電話	内線 173 (連絡教員)	E-mail	Shun-yoko@nifty.com
授業の達成目標	授業達成目標との対応		
		小山高専の 教育方針	学習・教育 目標 (JABEE)
			JABEE 基準 要件
	1. 地図(地形図)読図を行い具体的に説明できる。	①	
2. 様々な地域を地理的な視点から分析・考察を行い具体的に説明できる。	①		
3. グローバル社会における日本の役割について熟考できる。	①		
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
到達目標 1-3 : 授業時に提出してもらったリアクションペーパーの記述内容を、客観性・論理性で評価する。			
到達目標 1-3 : 小テスト・中間試験および定期試験において 60%以上の得点により達成とする。			
評価方法			
原則として次の 3 項目の加重平均により評価する			
1. 受講態度 20%			
2. レポート 30%			
3. 中間試験および定期試験 50%			
授業内容			
地理は地域の理(ことわり)を明らかにする学問分野である。そこで地域の観察や考察に必要な各種技術を習得する。			
また、これから読む論文や新聞記事には表やグラフなどの様々なデータが掲載されており、その読み方を正しく理解することは今後の専門科目の理解にも重要であることから、様々な統計データの読み方についても授業の中で触れていく。			
1. 地理学とは			
2. 地表面のとらえ方と球面状の位置			
3. 時差の求め方			
4. 地図の種類と特徴			
5. 地形図の読図			
6. 地形図の読図と作業			
7. 地形図から地域を読む			
前期中間試験			
8. 国家と地域区分			
9. 結びつきを強める現代世界			
10. 世界を結ぶ交通			
11. 世界を一つに結ぶ通信			
12. 国際化する人々の移動			
13. 拡大する世界の貿易			
14. 統計資料の読み方			
15. 統計資料を用いた作業			
16. 統計から地域を読む			
前期期末試験			
17. 人間環境をとり巻く環境			
18. 高専周辺のフィールドワーク (自然環境)			
19. 高専周辺のフィールドワーク (社会環境)			
20. アジアの生活・文化			
21. ヨーロッパの生活・文化			
22. アメリカの生活・文化			
後期中間試験			
23. 複雑にからみ合う地球的課題			
24. 世界の人口問題			
25. 世界の食料問題			
26. 世界の都市・住居問題			
27. 世界の資源・エネルギー問題			
28. 地理学からみた技術			
29. 地球的課題の解決にむけて			
後期期末試験			
30. 試験解説および 1 年間のまとめ			
キーワード	地域, 地図, 自然と人との関わり, 環境, 世界と日本, 技術と社会		
教科書	『新編 地理 A』『基本地図帳』(二宮書店)		

参考書	授業中に適宜紹介または資料のコピーを配布。
カリキュラム中の位置づけ	
前年度までの関連科目	なし
現学年の関連科目	なし
次年度以降の関連科目	政治経済、倫理社会、歴史、歴史学、人間と科学
連絡事項	
不明点・疑問点等があれば授業日であれば講師室へ、不在の場合はacidicriver@excite.co.jpへコンタクトを取ってください。	
シラバス作成年月日	平成 27 年 2 月 23 日